

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドサポートこぼん		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 1月 11日		～ 2025年 1月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせた、個別活動・集団活動を取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味や発達に合わせて、個人の活動の予定を立てている。 興味や年齢の近い子ども同士でルールのある遊びや創作活動で集団での過ごし方や多彩な経験が出来るように支援している。 	活動の様子を、写真などで保護者の皆様に伝えていけるようにしたい。
2	視覚的な支援を取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動や遊びなどを写真にして、遊びやすくしている。 個人のスケジュールや時間を視覚化して、見通しを持って過ごせるようにしている。 必要に応じて、活動やおやつを分けて構造化しどこで何をするか解りやすくしている。 定期的に専門家の研修やアドバイスを受けている。 	常に見直しを行い、よりご本人が解りやすいツールや支援方法を探っていく。
3	様々なイベントや研修を行い、地域住民との交流やお子さんの経験の場を作っている。	<ul style="list-style-type: none"> 仕事体験やマルシェ、子ども食堂などイベントを開催した。 年2回、きょうだい児イベントを開催した。 きょうだい児について外部講師を呼び研修を行った。 	定期的を開催できるように、内容を工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流が不足している。	児童クラブや他事業所との接点が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聞きながら、プライバシーに配慮して取り組んでいく。 ケア会議などで関わった他事業所と交流の機会を作っていく。 身近な児童クラブに声をかけていく。
2	保護者同士の交流が少ない。	保護者同士が関われる機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> くるみ会員の周知を図っていく。 保護者の意見を聞きながら交流の機会を検討していく。
3	非常時の対応について周知できていない	避難訓練の実施曜日以外の保護者への情報共有方法お知らせ以外での伝達方法が不十分	<ul style="list-style-type: none"> SNSでも発信している事を再度伝えていく。 モニタリングや面談時など、定期的に説明していく。